

## 本間貞史作曲 音詩「秋に寄せて」-日本の歌による四章- 改訂楽譜について お詫びとお願い

2021年7月 亀山 統一 kameyama@agr.u-ryukyu.ac.jp

電子楽譜はフリーソフト MuseScore を使用して作成しました。同ソフトは次のサイト <https://musescore.org/ja> からダウンロードして使用できます。ソフトウェア作成者に深い敬意を表明するものですが、このソフトウェアには小さくない欠陥があることに気がきました。すなわち、**音符に付属する諸記号の一部について、総譜上で手作業で位置を調整入力した情報が、パート譜を作成する際に反映されないことがある**という点です。

「秋に寄せて」の全4楽章のパート譜は、総譜から自動作成してあります。その際、文字で記された指示（クレッシェンド[ *Cresc. ....*]を含む)については点検校正してあります。しかし、**一部の記号、特にクレッシェンド、デクレッシェンド記号[<,>]の始まりと終わり、及び強弱記号 [*p, f, ...*]の位置について、パート譜上では総譜と少しずれている可能性があります。**

特に、第四章「赤とんぼ」において、作曲者はクレッシェンド、デクレッシェンドを非常に細かく指示しています。中でも長音符の使われるフレーズの多くにおいては、初めの強さを保つてから変化しはじめること、また、フレーズの最後に最弱状態を維持し、余韻を残して終わることを指示しています。そのような記譜は、**総譜においては、校訂を経て正確に表示されています。**しかし、そのようなニュアンスがパート譜では反映されていないところが多々あるのです。

楽譜の作成者としては、パート譜についても正確を期すべきことは当然ですが、1-3章はすでに演奏者に提供済みであり、今回の4章においてもその完成後に気付いた次第です。これ以上、提供を遅らせたり、混乱を招いたりしないために、パート譜についてはこの注意喚起を付けて、現状のまま提供いたします。このことを心よりお詫びいたします。

**演奏家におかれては、総譜をよく検討し、パート譜と相違する部分があれば総譜にしたがって下さいますよう、お願い申し上げます。**

また、万一、楽譜に大きな誤り、疑問点がありましたら、上記メールアドレス宛に是非お知らせくださいますよう、お願いいたします。